

2019年12月期決算(連結)参考資料

2020年2月13日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<http://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 2019年12月期決算	3
2. 2020年12月期業績予想	7
3. 業績推移	8
4. 第41期(2019年12月期)期末配当	9
5. 役員等人事	10
6. 2020年の取り組みについて	11

1. 2019年12月期決算

① 連結

(単位:百万円)

	2018年	2019年	増減	増減率
売上高	7,810	8,359	549	7.0%
売上総利益	1,139	1,274	135	11.9%
営業利益	564	684	119	21.2%
経常利益	548	691	143	26.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	301	386	85	28.3%

【概況】

過去最長の10連休となりましたゴールデンウィークが大きな追い風となり、各施設での集客に向けた多様な取り組みや2018年秋に全国公開された映画「オズランド 笑顔の魔法おしえます。」に喚起された多方面からの利用者が相まって、九州の遊園地をはじめゴルフ場ならびに北海道の遊園地において利用者数が増加しました。

また土木・建設資材セグメントにつきましても、バイオマス火力発電所への燃料投入業務の受託が堅調だったことに加え、客土用土の販売も好調に推移しました。

以上の結果、当社グループの業績は売上高、各利益項目とも前連結会計年度を上回る結果となりました。

② セグメント別売上高・損益

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2018年	2019年	増減	2018年	2019年	増減
遊園地事業	4,158	4,638	480	619	738	119
ゴルフ事業	967	994	27	21	41	20
ホテル事業	2,033	2,013	△19	33	25	△7
不動産事業	156	158	2	118	120	2
土木・建設資材事業	495	553	58	81	89	7
消去又は全社	—	—	—	△309	△332	△23
合計	7,810	8,359	549	564	684	119

【遊園地事業】

売上高：九州の遊園地は過去最長の10連休となりましたゴールデンウィークが大きな追い風となったことに加え、営業強化による各種新規団体や修学旅行団体の獲得が好調に推移したことや、2018年秋に全国公開された映画「オズランド 笑顔の魔法おしえます。」に喚起された多方面からの集客も相まって利用者数が大幅に増加しました。

北海道では、スキー場はインバウンド客や自衛隊訓練の利用増加があったものの、12月に入ってから雪不足やそれに伴う営業日数の減少が影響し利用者数が減少しました。一方、遊園地は10連休となったゴールデンウィークを中心に利用者数が増加しました。

以上の結果、売上高は前期比480百万円増収(+11.6%)の4,638百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、前期比119百万円増益(+19.4%)の738百万円となりました。

【ゴルフ事業】

売上高：降雪や悪天候による落ち込みが大きかった昨年に比べ利用者数が増加したため、売上高は前期比27百万円増収(+2.8%)の994百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、前期比20百万円増益(+98.7%)の41百万円となりました。

【ホテル事業】

売上高：九州のホテルでは、宴会部門の落ち込みが大きかったことに加え、秋以降のインバウンド客の減少により宿泊者数が減少しました。。

北海道のホテルは、遊園地内で運営するレストラン業務が好調に推移したことに加え、宿泊者数も増加しました。

以上の結果、売上高は、前期比19百万円減収(△0.9%)の2,013百万円となりました。

セグメント利益：売上高の減少に伴い、前期比7百万円減益(△22.3%)の25百万円となりました。

【不動産事業】

売上高 : 前期9月から新たにアパート賃貸事業を開始したため、売上高は前期比2百万円(+1.3%)増収の158百万円となりました。

セグメント利益: 売上高の増加及び売上原価の減少により、前期比2百万円(+1.9%)増益の120百万円となりました。

【土木・建設資材事業】

売上高 : バイオマス火力発電所への燃料投入業務の受注が堅調なほか、客土用土の販売が好調に推移したことにより、前期比58百万円増収(+11.8%)の553百万円となりました。

セグメント利益: 売上高の増加に伴い、前期比7百万円増益(+9.8%)の89百万円となりました。

2. 2020年12月期業績予想

(単位:百万円)

	2020年予想	2019年実績	増減	増減率
売上高	7,800	8,359	△559	△6.7%
営業利益	480	684	△204	△29.9%
経常利益	460	691	△231	△33.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	280	386	△106	△27.6%

上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる可能性があります。

3. 業績推移

連結(通期)

(単位:百万円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 予想
売上高	7,061	7,664	7,810	8,359	7,800
営業利益	257	444	564	684	480
経常利益	230	422	548	691	460
親会社株主に帰属する 当期純利益	142	267	301	386	280

4. 第41期(2019年12月期)期末配当

当社は、株主の皆様への配当を経営における最重要課題の一つと位置付け、業績に応じた配当を行うことを方針としています。
 当社の2019年12月期の連結業績における純利益が、過去10事業年度における最高益であることを踏まえ、当初の配当予想に特別配当1円を加え、期末配当を1株当たり7円とすることといたします。

なお、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
第2四半期末	3円00銭 普通配当3円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当4円00銭 特別配当1円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭
期 末	8円00銭 普通配当5円00銭 特別配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	6円00銭 普通配当5円00銭 特別配当1円00銭	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	7円00銭(※) 普通配当6円00銭 特別配当1円00銭
年 間	11円00銭 普通配当8円00銭 特別配当3円00銭	8円00銭 普通配当8円00銭	11円00銭 普通配当9円00銭 特別配当2円00銭	12円00銭 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭	14円00銭 普通配当11円00銭 特別配当3円00銭

(※)第41回定時株主総会に「剰余金処分の件」として議案上程予定。

5. 役員等人事

2020年3月27日開催予定の定時株主総会において正式に決定

1. 新任取締役候補

◆取締役(非常勤) 上野 豊徳(ウエノ トヨノリ) 1953年2月11日生 67歳

【略 歴】

1976年4月 株式会社肥後銀行入行
2007年6月 同行理事水道町支店長
2008年6月 同行執行役員水道町支店長
2009年6月 同行取締役監査部長
2010年6月 同行取締役執行役員監査部長
2011年4月 同行取締役常務執行役員
2013年3月 当社取締役(社外取締役)
2013年6月 株式会社肥後銀行代表取締役専務執行役員
2015年6月 同行常任監査役(常勤)
2016年6月 肥銀リース株式会社代表取締役社長(現任)

※上野豊徳氏は、社外取締役候補であります。

2. 退任予定取締役

◆取締役(非常勤) 山木 仁(現 当社社外取締役、株式会社肥後銀行 代表取締役副頭取)

6. 2020年の取り組みについて

【遊園地事業】

①グリーンランド遊園地(九州)

本年は、国内でのオリンピック開催もあり、ますます多様化する顧客ニーズに加え、突発的な自然災害や目まぐるしく変動する海外情勢など、様々な変化に迅速に対応するとともに、さらなる進化に挑戦することで、多くのお客様にあふれる笑顔を届けてまいります。

■1月の冬休みを中心に、イルミネーションイベント「ワンダーイルミネーション」開催による夜間営業を実施し、冬季の集客を図る(新演出「オーロライリュージョン」実施のほか、100カ所以上のイルミスポットを展開)

■春の3大イベント

1. 「クレヨンしんちゃんワールド ラクガキングダムとワクワク! グリーンランドだゾ!」

期間:3月14日(土)~5月6日(水・休)、同年5月9日(土)~5月31日(日)の土日 計62日間

2. 「クロちゃんのモンスターパーク in グリーンランド」

期間:3月14日(土)~5月6日(水・休) 計54日間

3. 「仮面ライダーゼロワン バトルステージ」

期間:3月14日(土)~3月31日(火)の土日祝及び春休み期間(3月25日~3月31日)、

4月12日(日)~5月31日(日)の日・祝日及びGW期間(5月2日~5月6日) 計27日間

◆5月3日(日・祝)~5月5日(火・祝)「平成ライダー大集合」&「ヒーリングっど♥プリキュアショー」

◆5月31日(日)「歴代ライダー大集合」

■春の花火大会「HANABIフェスティバル」 3月28日(土)

■GWスペクトル打上花火 5月3日(日・祝)~4日(月・祝)

■新アトラクション「コズミックメイズ」導入 ※GWオープン予定

■春休みのイルミネーションイベント「夜桜 ワンダーイルミネーション」

期間:2020年3月27日(金)~3月31日(火)

■好評な「年間フリーパス」、「3世代ファミリー向け商品」、「クラブメイトパス」等のPR及び販売促進

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

■春イベント

◆多彩なキャラクターショー開催

- ・「仮面ライダーゼロワン」ショー
- ・「ヒーリングっど♥プリキュア」ショー
- ・「魔進戦隊キラメイジャー」ショー

◆コスプレイベント、カーイベント、ストリートパフォーマンスなど話題性の高いイベントを開催

■夏イベント(予定)

- ・子ども達に人気のキャラクターショー開催
- ・「移動動物園」の開催
- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE 2020」(ジョインアライブ)
- ・「いわみざわ彩花まつり花火大会」「いわみざわ公園花火大会」

■秋イベント(予定)

- ・「宝探しゲーム」開催
- ・「リアル脱出ゲーム」開催

【ゴルフ事業】

3ゴルフ場において、コース整備や設備の拡充による顧客満足度の向上を基本として、各ゴルフ場の持つ強みを活かした集客施策の実施

- パブリックコース(GRGC)では、季節毎にテーマを持った特色のあるゴルフコンペを開催
自社予約サイト限定プランの展開や友の会会員限定特典によるリピーターの拡大
- レディスティーイングエリアを新たに設け、女性ゴルファーの開拓に取り組む一方で、バンカーの新設など、戦略性を高め、一層の魅力拡大を図る
- メンバーシップコースでは、会員限定のポイントシステムの充実による利用促進と、近隣ゴルフ場との差別化による新規会員獲得を図る
地元企業や各種団体との連携を強化し、コンペ獲得によるビジター客の獲得を図る
- 樹木の剪定・伐採及びカート道路の補修等のコース整備に注力

【ホテル事業】

①ホテルブランカ・ホテルヴェルデ

- 遊園地をはじめとするグリーンランドリゾート全体のオフィシャルホテルとしての役割を存分に意識して、利用者に快適なサービス提供を心掛け、料飲部門や宴会部門においても独自のブランド力を構築し、更なる収益基盤の強化を図る

【ホテルブランカ】

- ・遊園地、プール、ゴルフ場に隣接した抜群のロケーションを活かした宿泊プランによる集客
- ・繁忙時における定員稼働率向上に注力し、収益力向上を図る
- ・屋上エリアの整備を進め、バーベキューやグランピングなど、新たな楽しみ方を提供
- ・好評な遊園地を望む中庭でのバーベキューや冬の鍋メニュー等を充実させ、更なるリピーター拡大を図る

【ホテルヴェルデ】

- ・ファミリーに人気の「仮面ライダーゼロワン」ルームを造成
- ・遊園地やゴルフ場との各種宿泊セットプランの充実
- ・料飲店舗における新メニュー提供や季節毎のイベント実施をきめ細やかに情報発信し、利用拡大を図る
- ・レストラン「フォンターナ」のビュッフェ台刷新により機能性向上と顧客満足度向上を図る
- ・人気アーティストの招聘など、魅力あるイベント開催
- ・ホームページの大幅なりニューアルによるPR強化で、婚礼や各種団体の獲得に注力

【ホテル事業】

②ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

- 遊園地を中心とするリゾートホテルとしての役割を果たすとともに、地域に密着したホテルとして、料飲部門や宴会部門の品質向上とブランド力の強化を推進し、収益基盤の強化を図る

【ホテルサンプラザ】

- ・ファミリー層の着実な取り込みに加え、オリンピック競技の札幌開催を絶好の機会と捉え、様々な宿泊プラン設定や営業強化による集客拡大を図る
- ・料飲メニューに変化を持たせリピーター拡大を図り、宿泊客へのPRによる喫食率向上に注力

【北村温泉ホテル】

- ・学校団体や企業団体に向け、合宿プランや研修プランを中心に団体獲得を図る
- ・無料送迎バスの強みを活かし、また、椅子・テーブル席での宴会の快適性をPRし、顧客層の拡大を図る
- ・6月頃から大規模改修工事を控えており、様々な設備拡充と新たなサービス提供による万全の体制で営業再開後の集客に注力

【不動産事業】

- ・遊園地を中心とする、グリーンランドリゾートエリア全体の魅力増大に繋がるような、新しいテナントの誘致に注力
- ・グリーンランドリゾートエリアの変遷
 - 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
 - 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
 - 1968年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
 - 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
 - 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
 - 1998年 3月 天然グリーンランド温泉「弥生乃湯」オープン
 - 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
 - 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
 - 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
 - 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
 - 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
 - 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
 - 2017年 4月 セブン-イレブン グリーンランド北店オープン
 - 2018年 9月 賃貸アパート「オズハウス I 番館」完成・賃貸開始

【土木・建設資材事業】

- ・コールサンドやポゾテックなどの建設資材の販売に注力
- ・火力発電所へのバイオマス燃料投入業務受託の着実な実績積み上げ
- ・幅広い情報ネットワークを駆使し、積極的な土木工事受注